

新年度になりました。本日も熊本労災病院のホームページを訪れていただき、感謝もうしあげます。

今年は春先の気温が高く、例年になく桜が早く見頃を迎え、すでに散り初めすらみられます。昨年も、見る人が密やかでせっかくの桜が少し寂しそうと思いましたが、まさか今年もそれを持ち越しているとは想像もしませんでした。しかし、現実には冷酷です。感染者が皆無とはいきませんが九州は不思議と落ち着いているものの、関西地方を最大のポイントとして、ずっと感染ゼロを保っていた岩手県も含め、多くの都道府県で、いわゆる第四波と想定できる感染の波が始まっています。2月以降、当院も陽性入院者がゼロで、このままの状態が維持できるのではないかと考えておりました。まだ完全にその期待が消滅したわけではありませんが、毎日、陽性者の入院受け入れで病床運用に頭を悩まし、院内での感染を恐れ続けたあの憂鬱な日々がまた来るかもしれないと思うと本当に気持ちが萎えます。しかし、熊本県も、大学病院の関与も深めて、COVID-19対応に新たな布陣で臨もうとしており、全県一丸となり、当院もその一翼を担って対峙したいと思います。

当院に配分された、一箱 195 バイアルのワクチンは、1 バイアル当たり 6 回分、2 回接種に使うとして、 $195 \times 6 / 2 = 585$  人分になりますが、当院の職員の希望者の約 3 分の 2 に接種を完了しつつあります。患者さんとの接触がある、医師、看護師にはほぼ全員接種が終わりました。特に 2 回目は、発熱や頭痛、倦怠感が 1 回目より強い傾向にあり、接種翌日には仕事を休まざるを得ない職員も複数おりました。ちなみに、私はたいしたことなく、年寄りや若い人より反応が少ない、という傾向もあるようで、周りを見てもそんな傾向が実感されています。次の配付は、また一箱が 4 月 19 日の週の後半くらいに来るとのことで、当院では、4 月に新規採用となった当院の医療職員に加えて、医療従事者などの優先接種の一環として近隣の歯科医師会の先生や行政のかたへの接種に用いられます。ちなみに、八代医療圏では、医療機関、歯科医療機関、薬局関係、消防や行政など、併せて 4000 人以上の医療関係者が優先接種対象になっています。当院と熊本総合病院の職員以外の医療従事者は医師会が分担して接種を行い、その他のみなさんは、当院と総合病院で折半して接種する予定です。まだまだ潤沢にワクチンが配付されてくる保証が全くなく、一般高齢者には 4 月中旬以降接種を始める、というのが国の方針だったと思いますが、各自治体も、接種券やお知らせチラシの準備は万端進めているものの、肝心のワクチンがいつ来るのかわからない状態で、めどはまだついていないのが実態です。変異株というのが今や心配の種で一部ワクチンが効きにくいのではないかという心配もされていますが、少なくとも従来型の型では、2 回接種すると概ね 90% 以上の方は、半年たっても免疫が維持されそうだと、という報告もあり、最も期待できる対抗策としてワクチンには大いに期待しています。いくらか生じるアナフィラキシーという重篤な副反応も対応策が確立しており、大きな阻害要因がなければ多くの方が接種されること期待しております。

そんな中で、たくさんのお新採用者を迎えました。まだオリエンテーションでの緊張した表情がとれていませんが、みな、希望に溢れたきれいな瞳をしています。初めて社会に出

た若い職員も多く、年度末に多くの職員を送り出したさみしさが賑わいに変わって祝福しつつも、この時期、ようこそ、この大変な修羅場にお出でくださいました、と同情の念も禁じ得ません。私たちの世代は、手厚いオリエンテーションみたいなものを受けた経験はあまりなく、いきなり職場に放り込まれる、という状況だったと思います。ただ、冷たいようですが、各自が、それぞれに降りかかってくる試練の波を乗り越えて成長していくのは今も同じだと思います。その波を少しでも低く保つ、また乗り越えるときの手助けをする、のが執行部の責任でもあります。できれば、前祝いに、大勢で飲み明かして氣勢をあげたいところですが、院長が「更迭」される危険も高いので、それは将来のお預けにしつつ、気持ちと制度でサポートしていきます。

地域の皆様や医療機関の皆様には、医師の交代や診療体制の変化などでご不便ご不安の念を強いているかもしれず、たいへん、申し分けなく存じます。この時期特有の課題ではありますが、できるだけ変化を小さく、また決して機能の低下にならないよう、ご迷惑をおかけしないよう、にしたいと考えております。ご不満やご意見などございましたら、なんなりと当該部署あてお寄せください。種々の変更を折り込んだ診療案内は、早急に「ろうさい病院通信」にまとめてお送りいたします。

本年度も、かわらぬご支援、ご指導をどうぞよろしく願いいたします。